

令和2年度事故発生状況

7月末現在、傷害事故が1件発生しています。

日時	性別等	種別	事故の状況
6/15 (月) 13:15	女 64歳	傷害	車から現場に行く際、道路との段差につまづいて、左足関節外果裂離骨折した。また、作業中、窓を開けるため前のサボテンの棘が刺さり、皮膚に炎症を起こした。

作業前には周囲の状況を確認し、安全就業を心がけましょう！



5月～7月 安全パトロール レポート

ケース1	ヘルメットの未着用、作業に適していない服装で草刈り作業をしていた。
安全委員会より	安全就業基準を遵守し、ヘルメットの着用、作業に適した服装で就業しましょう。
ケース2	市道沿線の草刈り作業現場において、同一会員が飛散防止ネット持ちと誘導係りが兼ねていた。
安全委員会より	飛散防止ネット担当と誘導担当の2名を配置するのがよいでしょう。
ケース3	剪定作業現場において、会員同士の積極的な声掛けや、作業の伝達が行われていた。
安全委員会より	会員同士のコミュニケーションは事故防止にも有効です。



「安全はすべてに優先する」をモットーに安全就業をお願いします。

安全ニュース

NO. 2
令和2年8月

公益社団法人
能代市シルバー人材センター
安全推進委員会

令和2年度 安全スローガン
「いつまでも 働く喜び 無事故から」

《熱中症予防のために》

熱中症を防ぐために、マスクをはずしましょう



2 m以上



屋外で
人と2 m以上
離れている時

注意

マスク着用により、熱中症のリスクが高くなります

マスクを着けると皮膚からの熱が逃げにくくなり、気づかぬうちに脱水になるなど、体温調節がしづらくなってしまいます。

暑さを避け、水分を摂るなどの「熱中症予防」と、マスク、換気などの「新しい生活様式」を両立させましょう。

暑さを避けましょう

- ・涼しい服装、日傘、帽子
- ・少しでも体調が悪くなったら、涼しい場所へ移動
- ・涼しい室内に入れなければ、外でも日陰へ



エアコン使用中も

こまめに喚起をしましょう

(エアコンを止める必要はありません)

- ・窓とドアなど2か所を開ける
- ・扇風機や換気扇を併用する
- ・換気後は、エアコンの温度をこまめに再設定



のどが渴いていなくても こまめに水分補給をしましょう

- ・1日あたり1.2リットルを目安に
- ・1時間ごとにコップ1杯
- ・入浴前後や起床後もまず水分補給を
- ・大量に汗をかいた時は塩分も忘れずに



《熱中症の症状》

- めまい、立ちくらみ、手足のしびれ、筋肉のこむら返り、気分が悪い
- 頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感、虚脱感、いつもと様子が違う

《重症になると》

- 返事がおかしい、意識消失、けいれん、からだが熱い

ハチに気をつけましょう！



ハチの被害に合わないために

種類	スズメバチ	アシナガバチ
危険度	攻撃性、威嚇性が強い。巣に近づくと危険。	スズメバチほど攻撃性は強くないが、急に近付いたり刺激を与えると刺される。
営巣場所	軒下、木の枝、崖、屋根裏、樹木の空洞など	軒下、木の枝

- ・ハチは黒いものを攻撃する傾向があるので、白い服装や帽子を身に付けることを心がけてください。
- ・ハチの巣を見つけたら近付かないでください。
- ・もしハチに刺されたら、毒を絞り出しながら流水で洗い、患部を冷やしてください。スズメバチの場合は、速やかに病院で治療を受け、ミツバチやアシナガバチでも、体にじんましん等の異変があれば病院で治療を受けてください。また、ハチに1度刺されたことがある場合は、アレルギー反応（アナフィラキショック）でショック死することもあるため、速やかに病院で治療を受けてください。